

なごやし

にんちしょう

NEWS

H25.6月号

発行:名古屋市認知症コールセンター
n-renkei@samba.ocn.ne.jp
(千種区西部いきいき支援センター内)

「にんちしょう NEWS」は、いきいき支援センターや地域のケアマネジャー向けの情報紙です。ご意見・お問い合わせは、☎763-1530 までお願いします。

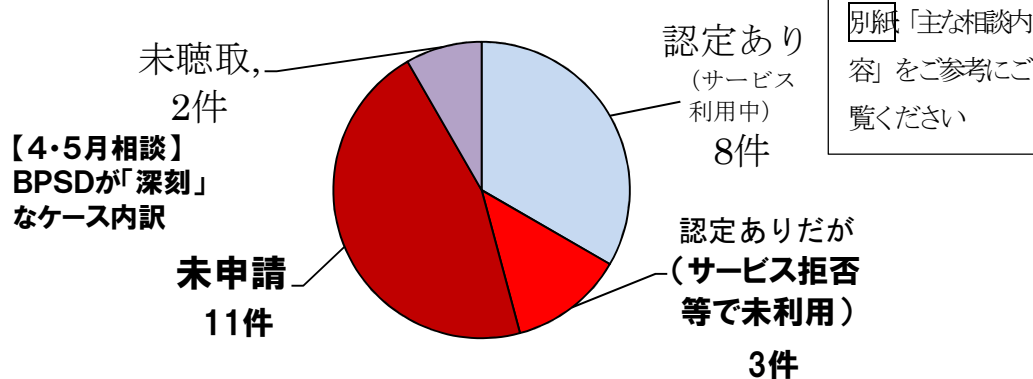
名古屋市認知症コールセンター実績報告

【25年4・5月の相談実績】

	4月	5月	(昨年4月)	(昨年5月)
開設日数	20日	17日	21日	21日
実相談件数	48件	35件	168件	71件
延相談件数	53件	47件	183件	91件
1日当たりの平均件数	2.5件	2.8件	9.1件	4.3件

コールセンターの相談ケースから…

【BPSDが「深刻」と思われる相談の「介護認定」の有無】



名古屋市認知症コールセンターには深刻な状況にありながら、介護保険サービス等の社会資源につながっていないケースの相談が少なからず寄せられます。

そのような相談に対しては、管轄のいきいき支援センター（や地域包括支援センター）と情報共有を図りながら、必要な社会資源の利用につながるよう連携をしていきたいと思っております。

各区の実践より・・・

「各区の実践より・・・」と題しまして、他センターの取り組みを紹介させていただきます。今回は、認知

症コールセンター担当者が3月まで所属しておりました天白区より・・・

イベントの啓発効果と動員力～天白区より～

少し前の映画ですが「折り梅」をご存知でしょうか？

天白区認知症専門部会はこの映画の上映権付DVDを数年前に購入し、以来何度か上映会を開催してきました。

啓発目的のイベントでは「動員力×訴求力」が成否判断の基準のひとつになるかと思います。この映画は「動員力」がとても高いものでした。

毎回大変盛況で、文化小劇場では多数の立ち見が多数出たり、定員を早々

に越えて多数の方にお断りをする事になってしまったこともありました。

映画を観られた方の反応も大変よく、手話通訳者の方が舞台袖で涙を流していたことも。

その他にも、民生委員さんから地域で上映会をして欲しいとの依頼が入るなど、上映回数は7回にのぼります。

「折り梅」キャッチフレーズは

「あるがままでいいと受けとめてもらえなければ、人はみな生きていけない」

最新の映画ではありませんが、心動かされる、「訴求力」も大きい映画です。ので皆さまもぜひ一度ご覧ください。



折り梅